

幕末土佐、一途に燃えた

僧侶と娘の禁断の恋！

よさこい節

作曲 原嘉壽子
台本 原嘉壽子
原作 土佐文雄

オペラ「よさこい節」は幕末土佐に実在したヒロインのひたむきな愛を貫く悲恋物語で、高知県の発案により当会との共同制作として平成2年に委嘱初演した作品です。当時、東京・高知等で連続上演し、親しみやすい魅力に溢れた日本オペラの佳作と高い評価を得ました。

この度、日本オペラ界にその足跡を残し、一昨年逝去された、作曲家原嘉壽子追悼公演として新たなスタッフ・キャストにより、25年ぶりに上演致します。原嘉壽子は全国の地方オペラ運動にも参画し、女性の生き様を描いたオペラ作品を数々生み出した作曲家です。今回の「よさこい節」は、「土佐の高知のはりまや橋で…」と謳われた名歌の発端になった実話をテーマにしている大衆的魅力に満ちた作品で、多くの皆様には是非鑑賞いただきたい作品です。

指揮には近年目覚ましい活躍を見せている女流指揮者の田中祐子、演出には定評ある岩田達宗を配し、キャストには泉良平、清水良一、佐藤美枝子、沢崎恵美、所谷直生、小山陽二郎ら実力ある歌手達を揃えて、この作品のエンターテイナーとしての魅力に迫る公演となります。

あらすじ

幕末の高知。お馬という美しい娘は竹林寺に出入りしているうちに、寺の和尙純信と道ならぬ恋に落ちてしまふ。寺の小坊主慶全は以前からお馬に好意を寄せていて、寺の仏像を質屋に出して珊瑚のかんざしを買い与えて、お馬の気を引こうとする。しかしお馬は慶全の誘いを断ったので、嫉妬に狂った慶全はお馬と純信の仲を言いふらし二人は捕らわれ、人々にさらし者にされながら流刑となるのであった。



小山陽二郎



所谷直生



沢崎恵美



佐藤美枝子



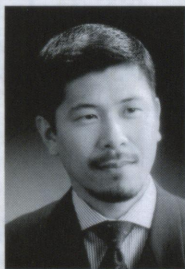
清水良一



泉良平



総監督 大賀寛



市川和彦



西野郁子



二渡加津子



木村圭子



きのしたひろこ



指揮 田中祐子



太田祐子



座間由恵



中川悠子



田中美佳



小林悦子



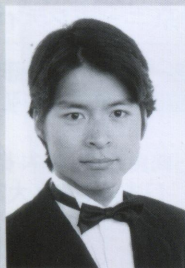
鈴木美也子



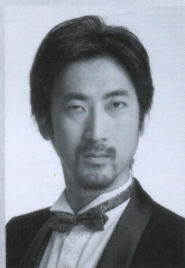
演出 岩田達宗



豊島雄一



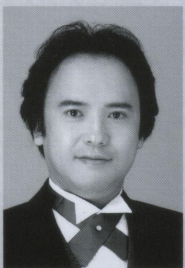
和下田大典



別府真也



井上白葉



川久保博史



鳴海優一

平成28年度戦略的芸術文化創造推進事業

文化庁主催 日本オペラ協会公演

よさこい節 ~高知公演~

2017年 3/11 (土) 18:30

高知県立県民文化ホール
オレンジホール